

## 平成24年度10月定例記者会見 会見録

日時 平成24年10月19日（金）午後2時30分～2時45分

場所 市役所2階 第1特別会議室

（市長）

それでは、私からお話しをさせていただきます。

はじめに、相模大野駅西側地区再開発ビル内に設置を予定しております2つの施設の愛称についてでございます。お手元に資料をお配りしておりますので、ご参照いただきたいと思います。この2つの施設につきましては、平成25年3月にオープンする予定でございます。7月から市内外の皆様に愛称を募集しておりました。

まず、市民・大学交流センターについてでございますが、この施設につきましては、地域活動などを行う市民と専門性豊かな大学が連携いたしまして、様々な分野での課題解決や活性化を図る拠点といたすものでございます。86点のご応募をいただきまして、選考の結果、「ユニコムプラザさがみはら」に決定させていただきました。「ユニコムプラザさがみはら」でございますが、英語で大学と地域社会を表す、University（ユニバーシティ）とCommunity（コミュニティ）を掛け合わせた「ユニコム」に、広場を表します「プラザ」を加えたものでございまして、市民と大学との連携による新たな地域活動・市民活動の創造の場にふさわしい愛称として決定いたしました。

また、観光情報の発信や市の特産品を販売するお店、いわゆるアンテナショップにつきましては、195点のご応募をいただき、選考の結果、「sagamix（さがみっくす）」に決定いたしました。音楽用語で「リミックス」という言葉がございまして、様々な魅力を混ぜ合わせて、新たなバージョンを創り出す意味がございまして、その言葉に相模原を掛け合わせて、「さがみっくす」といたしまして、創造的で刺激的な、今日の相模原市を感じさせる言葉として決定したものでございます。

多くの方からご応募いただきまして誠にありがとうございました。末永く市民の皆様にも愛される名前であってほしいと願っております。この件につきましては、必要がございましたら、会見終了後担当よりご説明をいたします。

次に、「はやぶさの故郷 潤水都市さがみはらフェスタ2012」についてでございます。

お手元に、資料をお配りしておりますが、「潤水都市さがみはらフェスタ」につきましては、本市のシティセールスのシンボルイベントといたしまして、相模総合補給廠の一部を会場に、11月24日、25日の2日間開催するものでございます。ご案内のとおり、このイベントにつきましては、政令指定都市に移行いたしました平成22年度より始めたものでございまして、今年で3回目ということになります。今回のフェスタにつきましては、「はやぶさ」、「宇宙」、「銀河」をキーワード

といたしまして様々な催しを開催いたしますが、「さがみはらあ麺グランプリ」をはじめ、昨年より実施しまして好評を博しました「ダンスコンテスト」なども引き続き開催する予定でございます。

今年は、銀河連邦友好交流25周年という節目を迎える年でもございますので、これを記念いたしましたイベントを開催したいと思います。そのひとつといたしまして「星に名前をつけよう」というイベントを開催したいと思います。これは、財団法人日本宇宙フォーラムからいただきました6つの星の命名権を活用いたしまして、銀河連邦の各共和国、4市2町の6つの自治体名を星の名前にしようというものでございます。「たいき」、「のしろ」、「おおふなと」、「さく」、「きもつき」の5つは決定いたしました。が、「さがみはら」という名前の星につきましては、既に存在するという事ですので新たに命名することができません。このことから、新しい星の名前を1つ募集いたしまして、フェスタの当日に決定させていただきたいと思っております。

そのほか、11月23日から26日の4日間、JR相模原駅の相模原市民ギャラリーで、「銀河鉄道999」や「宇宙戦艦ヤマト」などで有名な松本零士さんの個展「松本零士の世界展」が開催されます。このこともございまして、フェスタ初日の11月24日、松本零士さんにさがみはらフェスタ会場へお越しいただくこととなりまして、フェスタでトークショーを行っていただく予定でございます。フェスタ関連の詳細につきましては、会見終了後、担当部局より説明をさせていただきますので、よろしく願いたします。

次に、10月8日に開催されました第24回出雲全日本大学選抜駅伝競走についてでございます。本市にキャンパスがございます青山学院大学が見事、大会新記録で初優勝いたしました。この勢いをそのままに、来年1月に行われます「箱根駅伝」につきましても、初優勝を目指し、頑張ってくださいたいと思っております。

なお、12月23日には、相模原でもマラソン大会が開催されます。ご案内かと思いますが、相模原麻溝公園競技場周辺におきまして、「第1回相模原はやぶさりレーマラソン」が開催されます。このリレーマラソンは、2～8人がチームを組みまして、5時間、たすきをつなぐというものでございます。コースは、約2kmのフラットな周回コースでございまして、参加者は、自分の体力に応じて走ることができます。チームで優勝を目指したり、職場の仲間や友人と楽しんだり、多くの方が参加できるマラソンでございます。親子ペアランについては、応募がたくさんあり、すでに募集が締め切られたようですが、5時間リレーマラソンについては、まだ、多少の出場枠があると伺っておりますので、ぜひ、ランナーの方のご参加をお願いしたいと思います。また、記者の皆様には、ぜひ、取材をお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

(記者)

さがみはらフェスタについて質問します。前回は、被災地支援として被災県の食材を使った「さがみはらあ麺グランプリ」が行われましたが、今年は何か考えていますか。

(市長)

さがみはらあ麺グランプリでございますが、今年は食材の使用条件などを特に定めず、各店の自慢の一品で勝負していただこうと思っております。

昨年は16店舗の出場でしたが、今年は5店舗増えまして21店舗になりました。特に条件をつけませんので、お店の特徴を活かした、それぞれのお店の逸品がこのグランプリに出てくるのでは、と大きく期待をしているところでございます。

(記者)

オスプレイについてですが、国は、訓練ルートにあたる関係自治体へ説明する意向を示しましたが、市長はどのように考えますか。

(市長)

オスプレイの安全性につきましては、沖縄県民だけではなく多くの国民が心配をしていることです。国民が不安を抱いておりますので、国としては十分な説明を行い、ご理解をいただくことが必要だと思っております。

沖縄県の皆様の心情につきましては、私たちは報道でしか知る由もありませんが、大変厳しいものであると認識しております。

配置される地域の市民の方に十分な説明をしていただき、ご理解をいただくような手続きを踏んでいただくことが大事だと思います。

(記者)

無錫市への訪問について質問します。私は、前回の会見で市長の無錫市への訪問は事実上中止するものと受け止めましたが、その時点では招待状も届いておらず、市長は正式な対応を決めていなかったと思います。現在は、どのような状況でしょうか。

(市長)

招待状は10月2日に届きました。例年、無錫市と友好のある約40の都市がご招待をいただいております。無錫市のフォーラムは、その年のテーマに基づき発表会などが行われるもので、今年も同様のフォーラムが開催されるということです。

いろいろな状況から判断しますと、今回、私が訪問することは難しいと思っております。最終的な決定をしていますが、私としましては、今回の訪問を見送らせていただきたいと思います。

ただし、11月5日に行われる国際友好都市交流会につきましては、様々な諸事情をご理解いただきながら、これからも友好都市としてのつながりを深めていきた

いという内容の私の親書を託した市職員の派遣を考えております。

(記者)

市長が訪問を遠慮されるとのことですが、最終的な決定としてもよろしいでしょうか。

(市長)

最終的な決定としていただいて結構です。